

日本アジア投資株式会社 2012年3月期第2四半期 決算補足資料

決算発表日：11月4日

(ご注意)本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。

1.経営環境

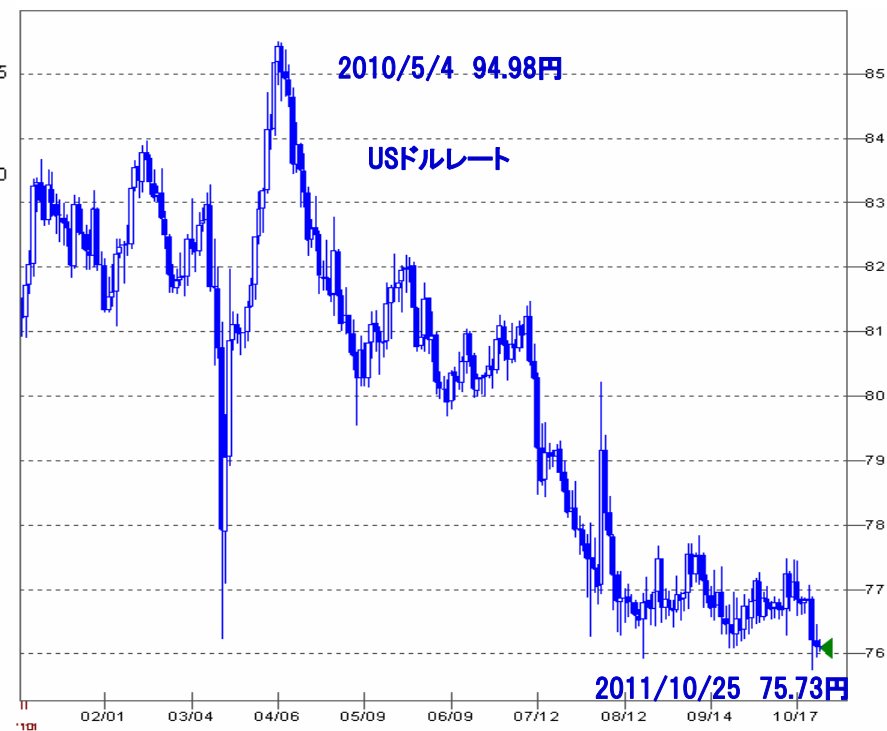
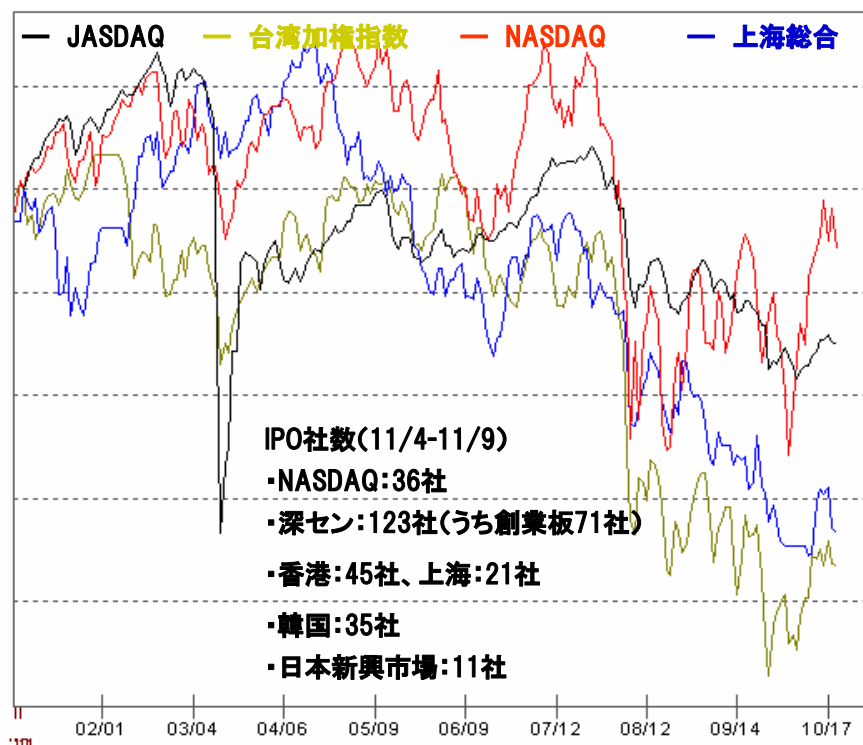
●株式市場動向

2011年4月以降の米国・アジアの主要市場は、欧州の金融危機の深刻化や米国の景気後退懸念、アジア各国の通貨高やインフレリスクの影響を受け下落基調。8月以降さらに下落幅が拡大したが、9月を底に回復の兆しを見せている。IPO社数は、軟調な市場動向を受け伸び悩み、特に日本は各国に比して低水準で推移している。

●為替動向

歴史的な円高により、当社においても海外の投資資産の売却時に、為替変動の影響を受けている。

*2011/1/1を基準値100とする



2. 2012年3月期第2四半期決算報告

| | 金額 (百万円) |
|---------------------|-------------|
| 業績(従来連結基準) | |
| 営業収益 | 2,325 |
| 経常利益 | △1,099 |
| 当期利益 | △1,117 |
| 純資産 | 2,841 |
| 総資産 | 33,065 |
| 投資・ファンドの状況 | |
| 投資実行額 | 1,362 |
| 投資残高 | 39,289 |
| ファンド設立・資産増加額 | 5,013 |
| ファンド運用残高 | 84,874 |
| 財務状況(従来連結基準) | |
| 借入金 | 29,042 |

●業績

- ・株価低迷、歴史的な円高が収益、利益、純資産に影響
- ・適切な売却タイミングを見極めながら営業投資資産の流動化を実施中

●投資の状況

- ・投資実行額が、前年同期比28%増加
- ・アジアを中心にグローバル展開を目指す成長企業への投資に注力

●ファンドの状況

- ・3ファンド、50億円の設立・資産増加
- ・(株)日本政策投資銀行と、中国での投資事業の基盤となる合併会社を設立

●財務状況

- ・期中に借入金18億円、10月末に7億円を返済し、残高を280億円台まで圧縮。
- ・新株予約権付社債14億円を満期償還

- ・適切な売却タイミングを見極めながら営業投資資産の流動化を実施
株価下落や円高の影響により、営業投資有価証券売却高、実現キャピタルゲイン、
ファンドからの成功報酬は前年同期比減少
- ・新規IPO社数は増加したものの、株価の急激な下落により上場株式の評価損が
2.9億円発生(従来連結基準)
- ・継続したコスト削減策の実施により、販管費を前年同期比13%削減(従来連結基準)

| (単位:百万円) | 11/3 従来連結 基準 | 11/3(2Q) 従来連結 基準 | 12/3(2Q) 従来連結 基準 | 増減率 (%) | 11/3(2Q) ファンド連結 基準 | 12/3(2Q) ファンド連結 基準 | 増減率 (%) |
|------------|--------------------|------------------------|------------------------|------------|--------------------------|--------------------------|------------|
| 営業収益 | 10,979 | 5,376 | 2,325 | △57% | 5,659 | 2,645 | △53% |
| 営業原価 | 7,286 | 3,299 | 2,031 | △38% | 3,671 | 3,095 | △16% |
| 営業総利益 | 3,692 | 2,076 | 293 | △86% | 1,987 | △ 450 | - |
| 販売費及び一般管理費 | 2,399 | 1,275 | 1,107 | △13% | 1,174 | 1,032 | △12% |
| 営業利益 | 1,293 | 800 | △ 813 | - | 813 | △ 1,482 | - |
| 経常利益 | 175 | 411 | △ 1,099 | - | 416 | △ 1,777 | - |
| 当期純利益 | △ 2,044 | △ 258 | △ 1,117 | - | △ 252 | △ 1,313 | - |

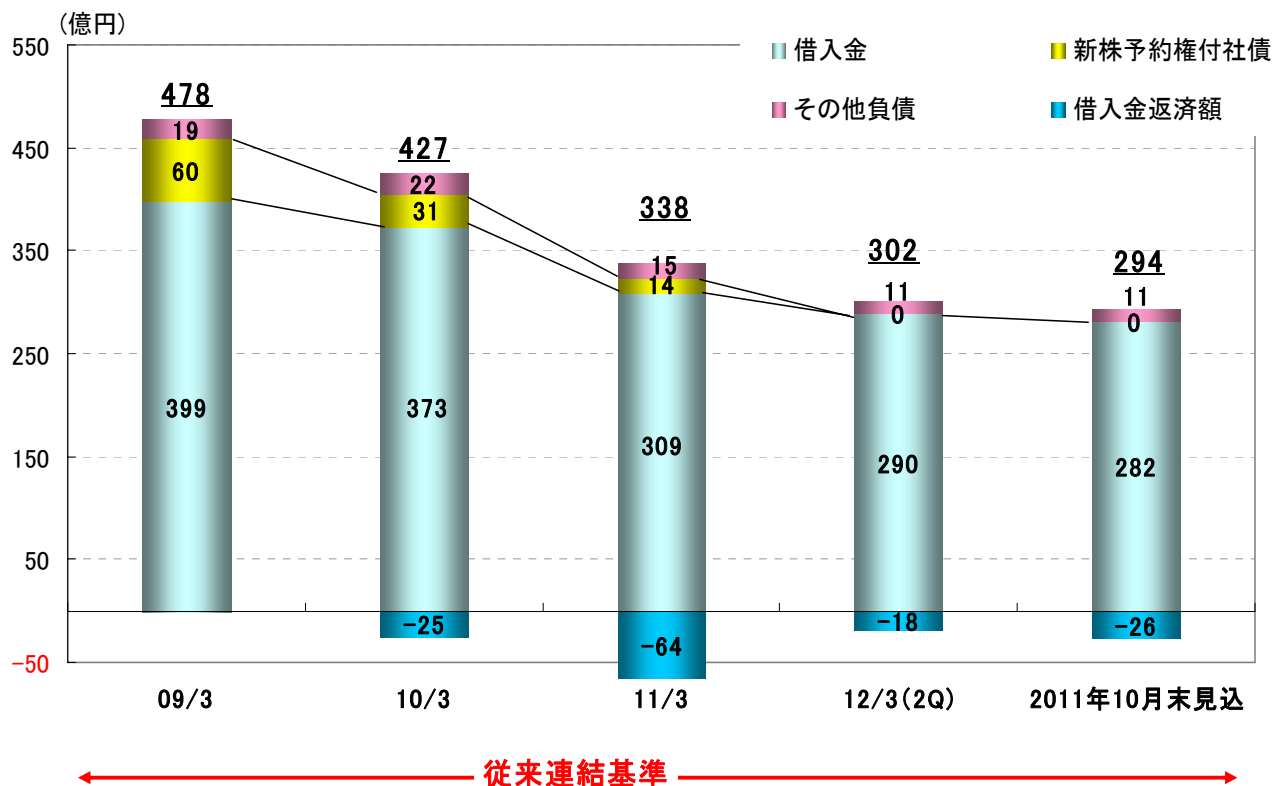
- ・将来の収益の源泉となる投資資産の積上げに注力したことや、営業投資資産の売却が減少し、営業活動によるCFは398百万円の赤字を計上
- ・投資有価証券の償還等により、投資活動によるCFは125百万円の黒字
- ・借入金返済に伴う支出や新株予約権付社債の満期償還等により、財務活動によるCFは3,289百万円のキャッシュアウトとなり、期末の現金同等物は3,570百万円減少

| |
|--------------|
| キャッシュ・フロー計算書 |
|--------------|

(ファンド連結基準)

| (単位:百万円) | 11/3期 | 11/3(2Q) | 12/3(2Q) | 増減率(%) |
|-----------|---------|----------|----------|--------|
| 営業活動によるCF | 7,137 | 4,172 | △ 398 | - |
| 投資活動によるCF | 2,215 | 1,641 | 125 | △ 92% |
| 財務活動によるCF | △ 7,886 | △ 2,941 | △ 3,289 | - |
| CF増減額 | 1,431 | 2,842 | △ 3,570 | - |
| 期末残高 | 9,762 | 11,172 | 6,191 | △ 45% |

- ・借入金：返済計画に基づき着実に残高を圧縮
 期中に18億円の返済を実施、加えて、10月末までに7億円を返済し
 2009/3期に400億円弱だった借入金残高は280億円台まで減少
- ・新株予約権付社債：残高14億円を2011年9月に満期償還



PL—ファンド運営報酬とファンド運用残高

●ファンド運営報酬

管理運営報酬等：

売却の進捗によりファンドの純資産が減少したことなどから、前年同期比で減少

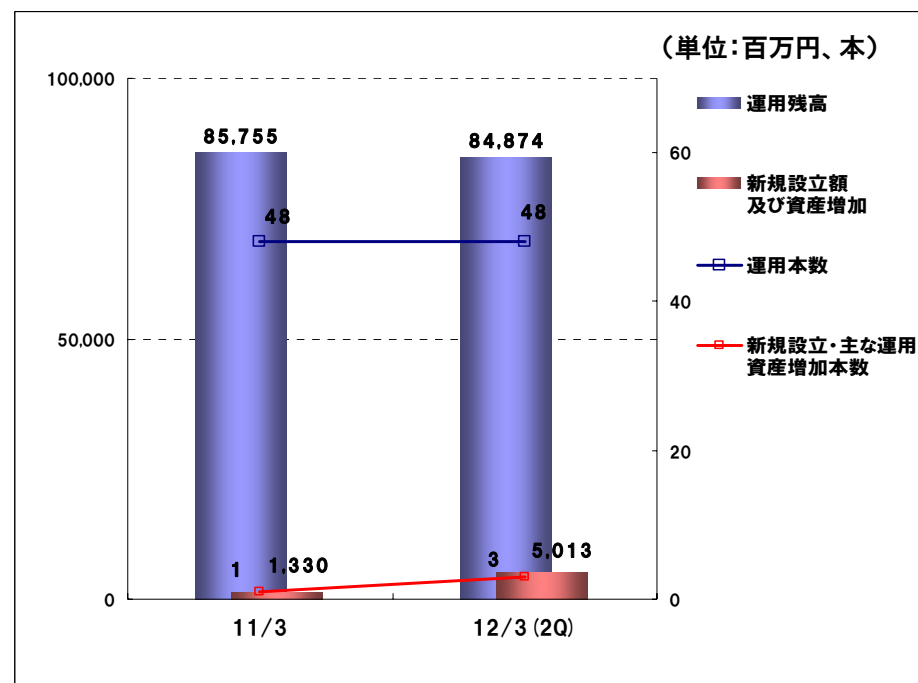
| 単位：百万円 | 11/3 |
|---------------------|-------|
| 投資事業組合等 運営報酬 合計額 | 1,383 |
| うち 管理運営報酬等 | 1,088 |
| うち 成功報酬 | 295 |

(従来連結基準)

| | 11/3 (2Q) | 12/3 (2Q) |
|---------------------|--------------|--------------|
| 投資事業組合等 運営報酬 合計額 | 754 | 476 |
| うち 管理運営報酬等 | 597 | 475 |
| うち 成功報酬 | 157 | 0 |

●ファンド運用残高と新規設立額/資産増加額の推移

新規設立・資産増加の一方で、満期により清算したファンドや外貨建ファンドの残高が円高の影響により減少したためファンド運用残高は前期末に比較して減少



- ・ファンド運用金額はコミットメントベースの金額であり、各連結会計期間末または連結会計年度末の為替レートで円換算しております。
- ・11/3より事業再構築の過程において取り扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において9本1,562百万円となります。
- ・当社グループが運営のために必要な情報の提供を行っているファンド分が11/3期末のうち1本1,134百万円、12/3(2Q)のうち1本1,134百万円含まれております。
- ・満期を迎えた後に清算期間に入っているファンドは上記の数値に含めておりません。

・実現キャピタルゲイン:

適切な売却のタイミングを見極めながら営業投資資産の流動化を実施
株価の急落により上場株式のキャピタルゲインが低迷

海外投資においては、歴史的な円高が売却高、実現キャピタルゲインに影響

・投資損益:

上場株式の株価下落による評価損が298百万円発生(従来連結基準)

(従来連結基準)

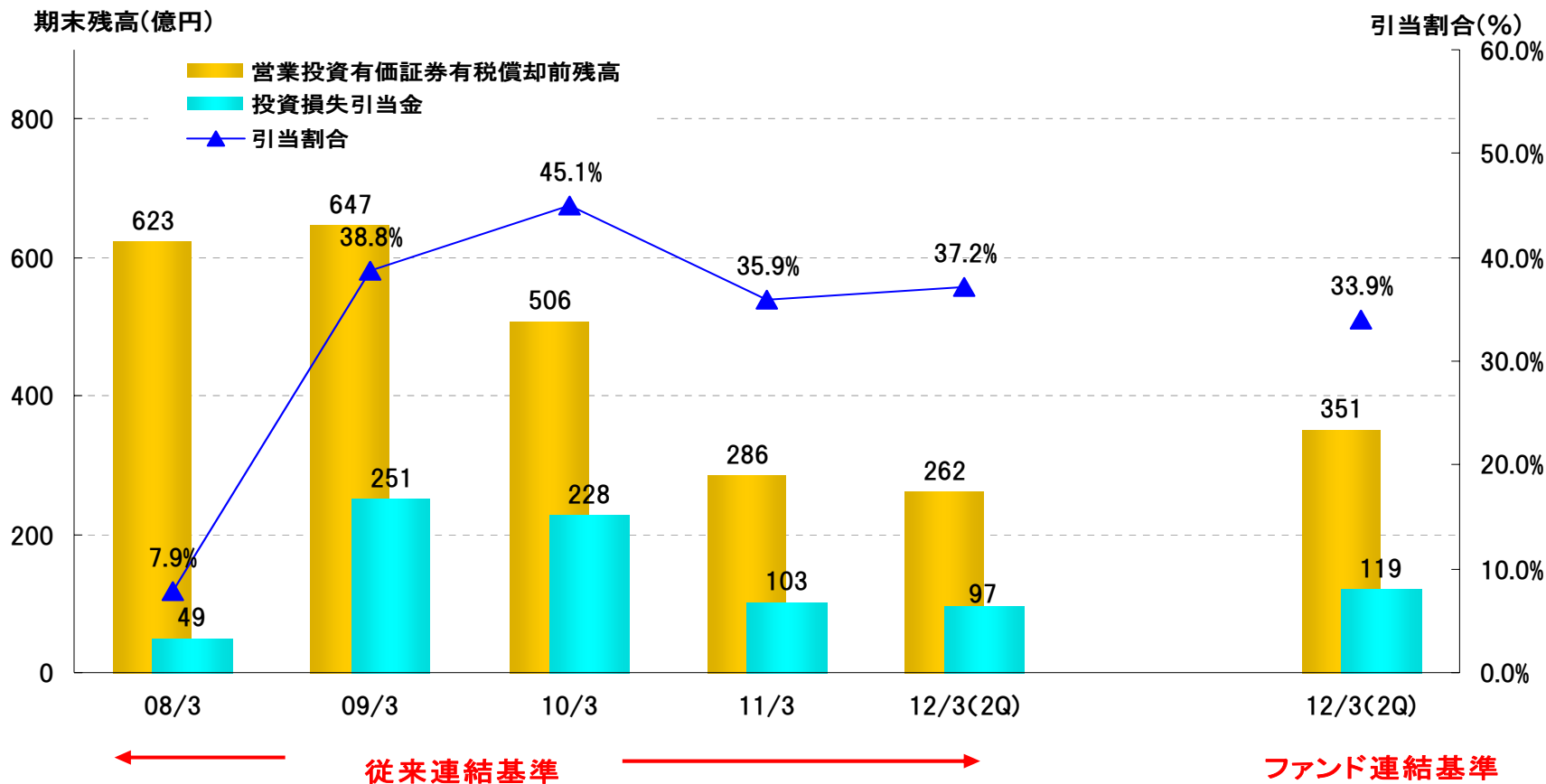
| | 11/3 |
|-----------------|-------|
| 営業投資有価証券売却高(A) | 8,584 |
| 営業投資有価証券売却原価 | 7,308 |
| 営業投資有価証券売却原価(B) | 6,680 |
| 営業投資有価証券評価損(C) | 627 |
| 投資損失引当金繰入額(D) | △296 |

| 11/3(2Q) | 12/3(2Q) |
|----------|----------|
| 4,163 | 1,659 |
| 3,078 | 1,855 |
| 2,544 | 1,514 |
| 534 | 341 |
| 121 | 116 |

| | |
|---------------------|-------|
| 実現キャピタルゲイン(A)-(B) | 1,904 |
| 投資損益(A)-(B)-(C)-(D) | 1,573 |

| | |
|-------|------|
| 1,619 | 144 |
| 963 | △312 |

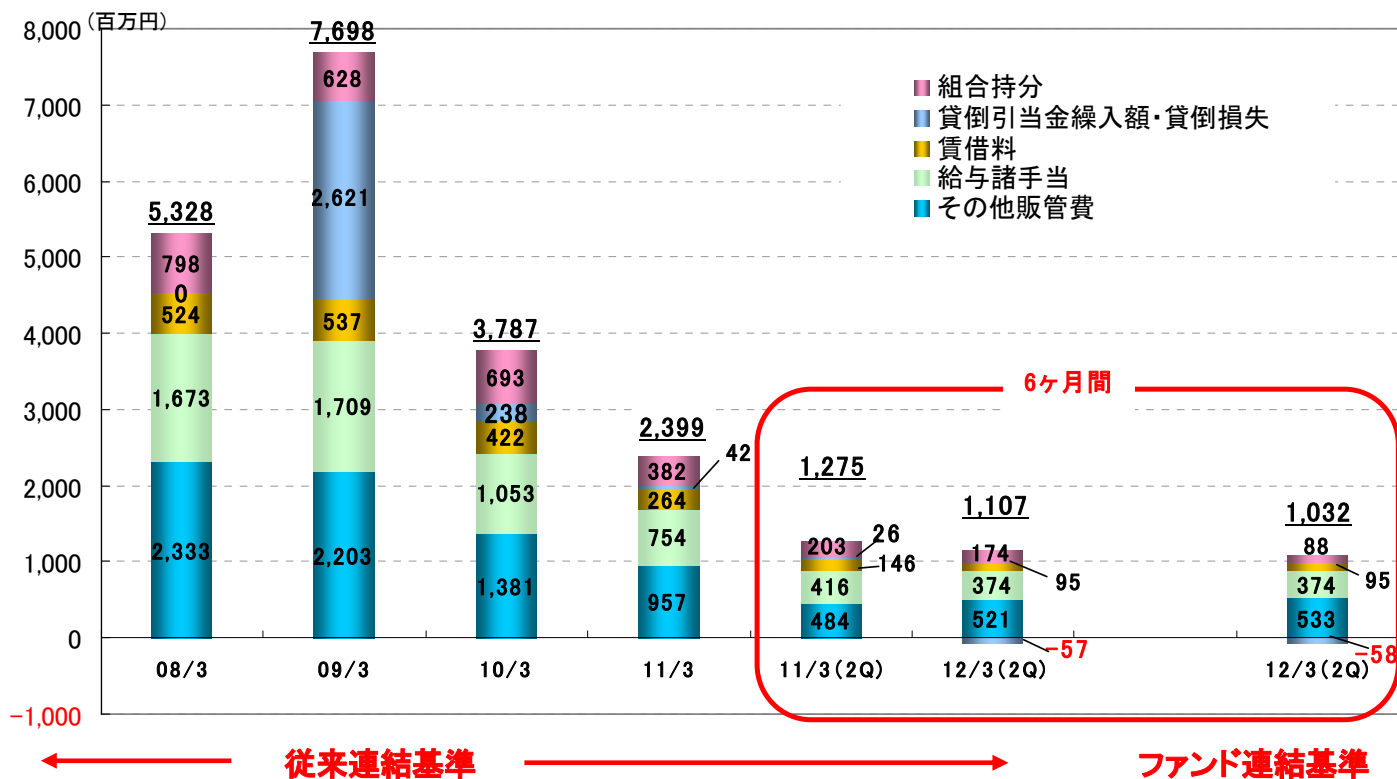
償却・引当割合は37.2%(従来連結基準)と前期末から1.3%上昇



- ・上記の営業投資有価証券及び投資損失引当金の金額は、下記の調整を行っているため、連結貸借対照表の計上額と異なっております。
 - ・2008/3期より、投資損失引当金を設定している営業投資有価証券の一部について、投資資金の回収が困難と判断されたため、有税償却処理をした金額を含めて引当割合を算定しております。
 - ・引当割合は、営業投資出資金の振替額及び含み益を控除し、有税償却残高を加えた営業投資有価証券の残高に対する割合としております。
 - ・2005/3期より、営業投資有価証券残高に営業投資出資金を含めるよう会計処理を変更しております。
- 影響額：2008/3期 43億円、2009/3期 36億円、2010/3期27億円、2011/3期16億円、2012/3(2Q)11億円、2012/3(2Q)ファンド連結後12億円。

PL—販売費及び一般管理費

継続的なコスト削減策が奏功し、前年同期比△13%(従来連結基準)の削減を達成



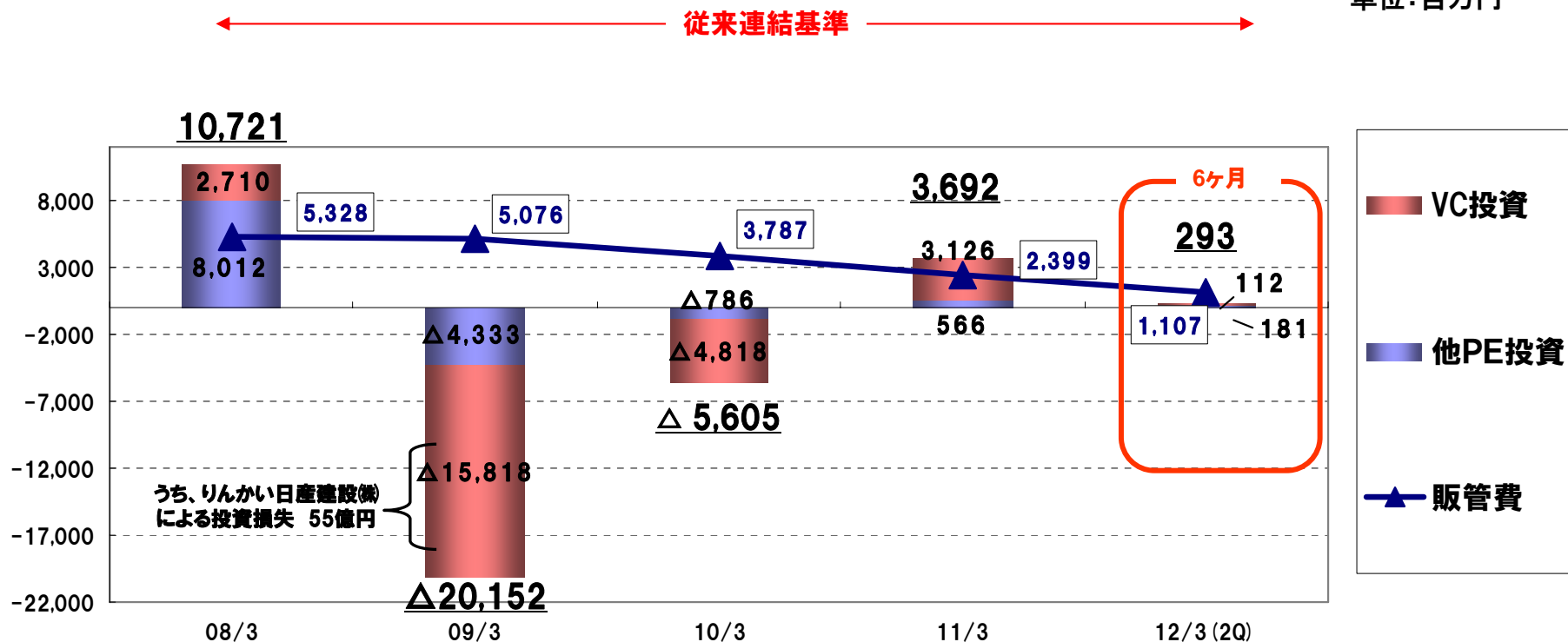
※販管費比率は従来連結基準による

| | 08/3 | 09/3 | 10/3 | 11/3 | 12/3(2Q) | |
|--------------------|------|------|------|------|----------|-----|
| 営業総利益に対する 販管費比率 | 49% | - | - | 65% | 377% | |
| 従業員数 | 連結 | 265 | 236 | 153 | 133 | 122 |
| | 単体 | 159 | 135 | 95 | 80 | 73 |

・ファンド連結後の「組合持分」には、投資事業組合持分経費の他、会社型ファンドの経費も含めております。

PL—投資プログラム別営業総利益

単位:百万円



- 2009年3月期の販管費は貸倒引当金及び貸倒損失を除いた数値。
- 他PE投資=バイアウト投資、事業再生投資、PEセカンダリー投資等のベンチャーキャピタル投資以外のPE投資事業。
- 同一ファンドからの収益が複数の投資プログラムにまたがる場合には、主となる投資プログラムに分類しております。

3. 参考情報

新規設立・主な運用資産増加ファンドの概要

▶2012/3期第2四半期の増加額:3本5,013百万円

日亜(天津)創業投資企業

- 2011年8月設立
- ファンド総額120百万人民元(2011年9月30日時点)
- 上海・深圳に次ぐ経済特区として成長する天津濱海地区に設立
- 中国の政府系投資ファンド、都市開発プロジェクトを担う政府系企業との協業(*)
- 環境関連技術など天津濱海新区の重点産業分野の成長企業が投資対象

*協業パートナー:天津濱海新区創業風険投資引導基金、天津エコシティ投資開発

北京中電新能投資中心(CITIC国電ファンド) *2011年6月設立

- 中国金融大手のCITICグループ、電力大手の国電グループとの共同運営
- 総額132百万人民元。中国の環境・エネルギー関連分野向けファンド

DFJ-JAIC Technology Partners, LP *2011年4月設立

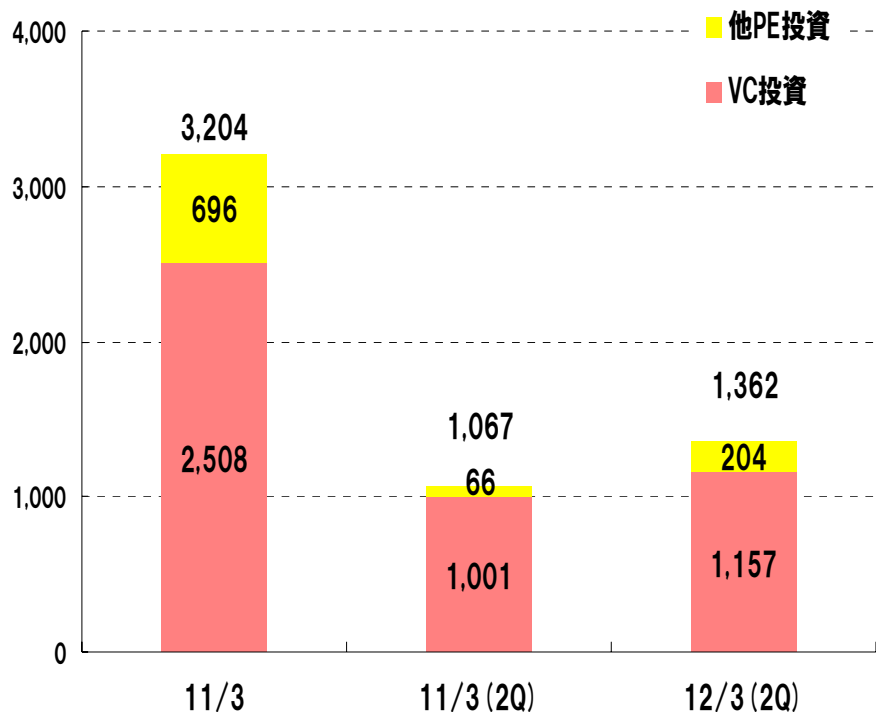
- 北米大手VCのDFJとの共同運営
- 総額29.9百万米ドル。米国/日本のIT・クリーンテック向けファンド

投資実行状況 – 投資種類別



◆金額ベース

(単位:百万円)

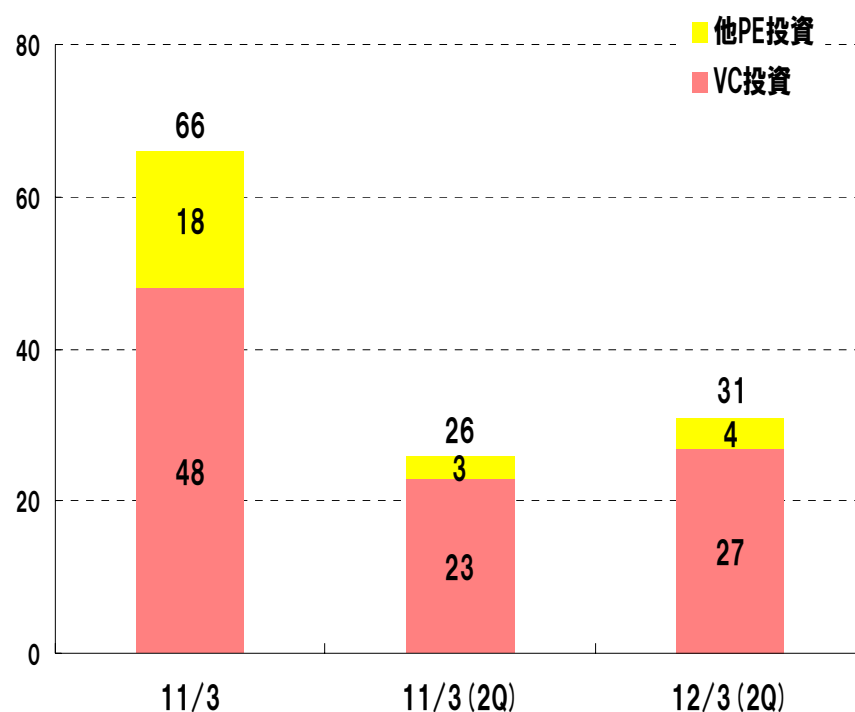


(自己勘定+ファンド)

- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・他PE投資＝バイアウト投資、事業再生投資、PEセカンダリー投資等のベンチャーキャピタル投資以外のPE投資。

◆社数ベース

(単位:社)



投資実行状況－新規投資動向

- 2012/3期第2四半期の投資実行:31社1,362百万円(前年同期比28%増)
- アジアを中心にグローバル展開を目指す成長企業に投資を実行

投資事例:A社

- － 事業内容:スマートフォン向けアプリケーションの開発
- － 2011年7月に投資実行
- － iPhone向けアプリケーションを開発するベンチャー。手掛けたゲームアプリの多くが米国など各国で高い人気を博し、グローバルに事業展開している。
- － 競争力のあるアプリの開発力、スマートフォン市場の高い成長性を評価し投資を実行。

投資事例:B社

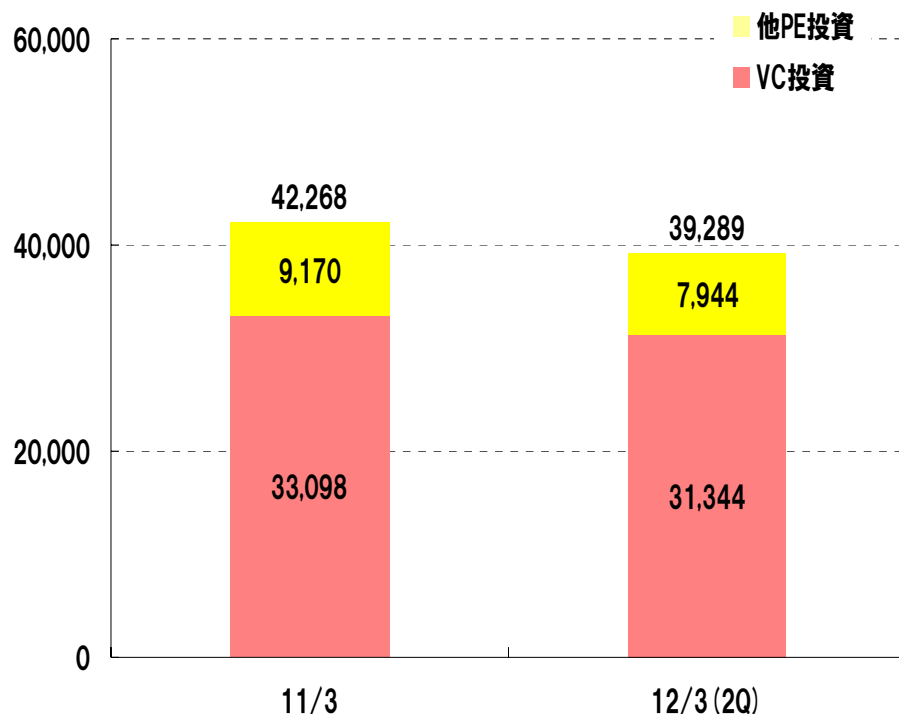
- － 事業内容:女性向けファッショングッズのデザイン企画・製造・販売、日本雑貨販売店舗の運営等
- － 2011年9月に投資実行
- － 欧米大手ブランドメーカー向けOEM供給による安定した事業基盤を確立する台湾企業。日本ブランドや自社企画商品の販売で業容拡大を目指す。
- － 中国ファッション市場の成長性への評価と、日本との連携による事業拡大への期待から投資を実行。

投資残高 – 投資種類別



◆金額ベース

(単位:百万円)

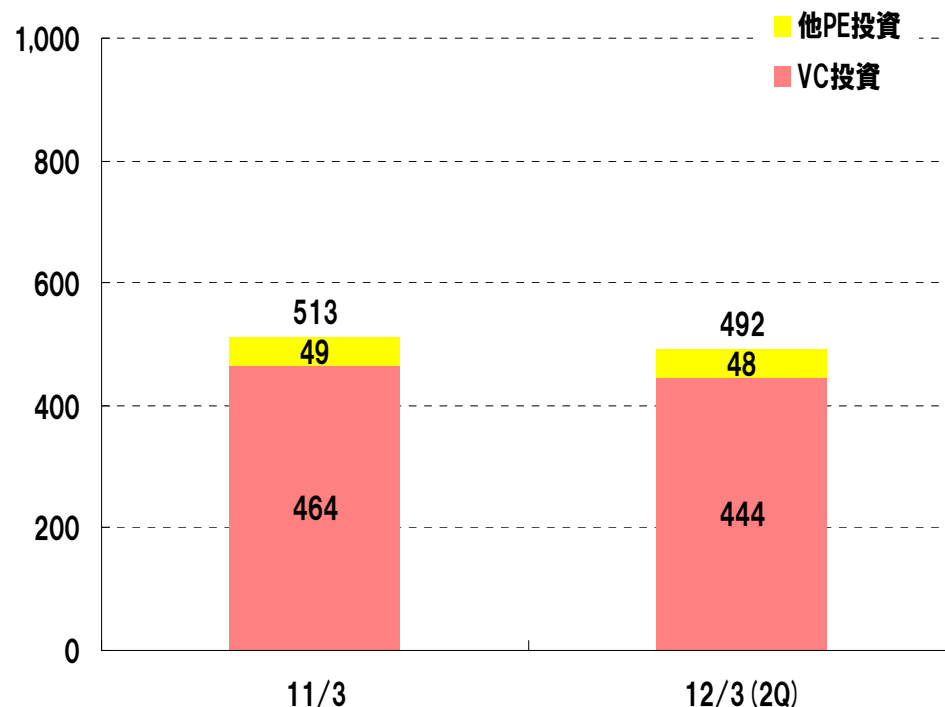


(自己勘定+ファンド)

- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・他PE投資＝バイアウト投資、事業再生投資、PEセカンダリー投資等のベンチャーキャピタル投資以外のPE投資。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において44社3,457百万円となります。

◆社数ベース

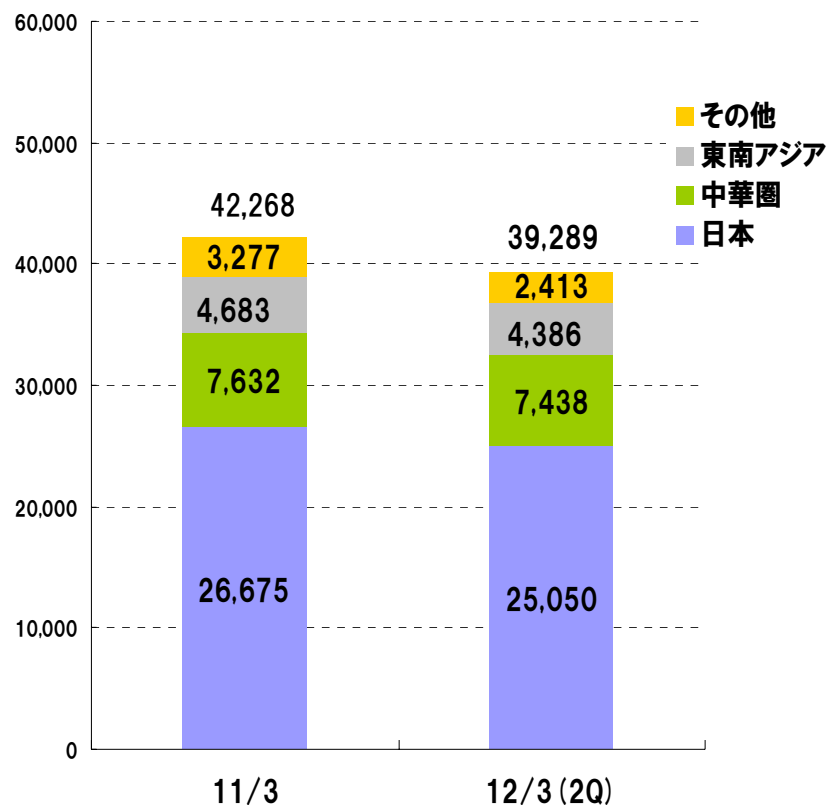
(単位:社)



投資残高一内訳①

◆地域別

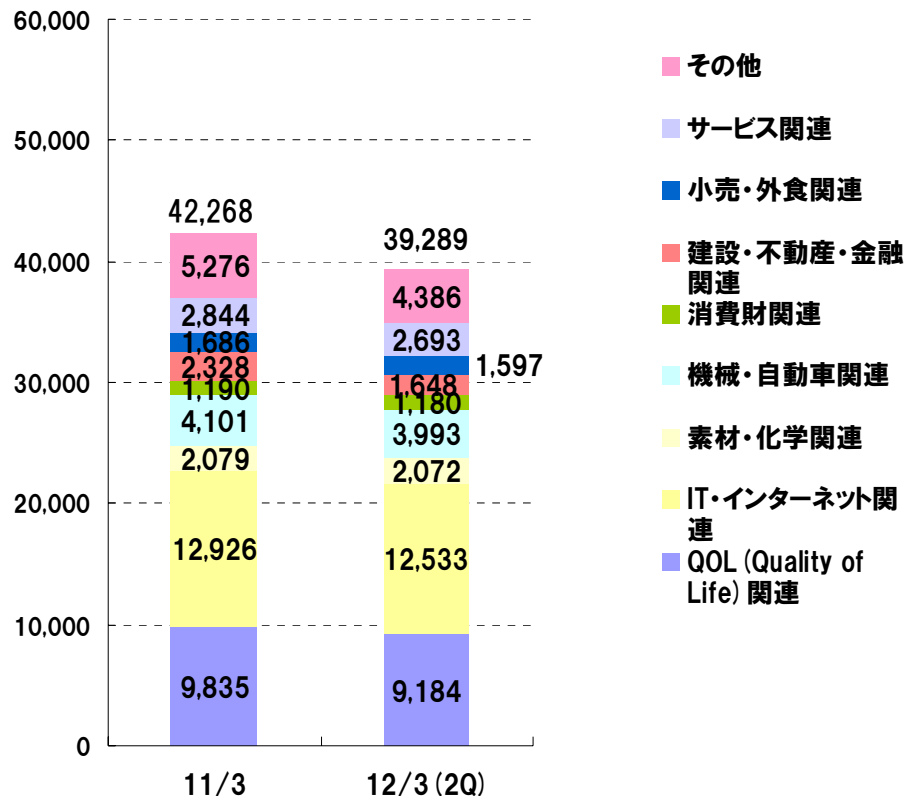
(単位:百万円)



(自己勘定+ファンド)

◆業種別

(単位:百万円)

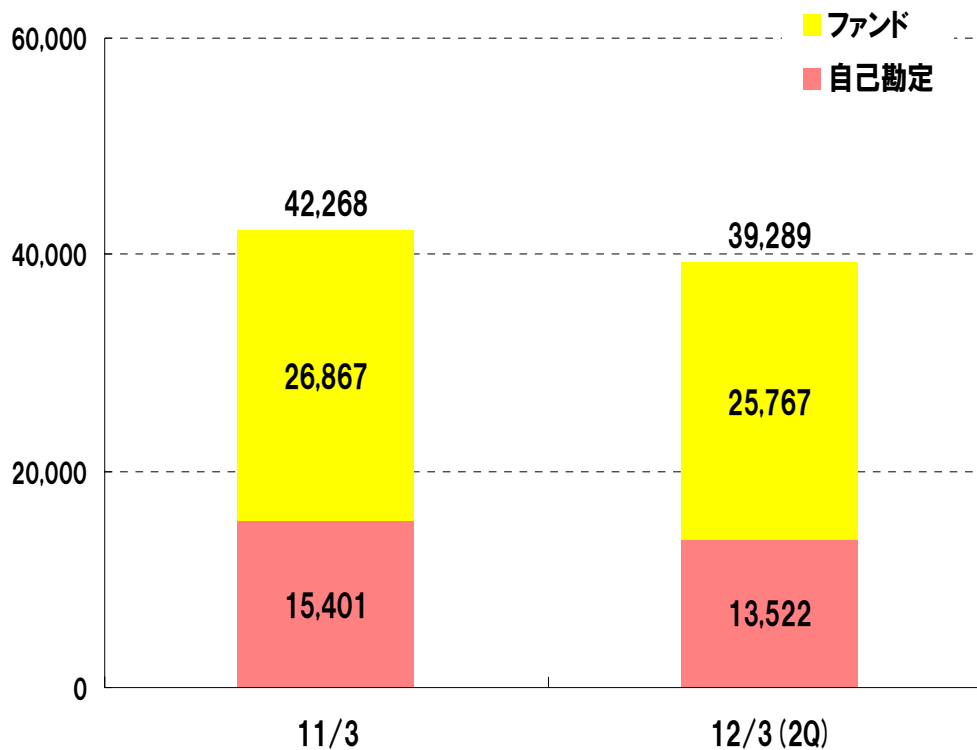


(自己勘定+ファンド)

- ・その他には、PEセカンダリー投資を含めております。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において44社3,457百万円となります。

◆投資主体別

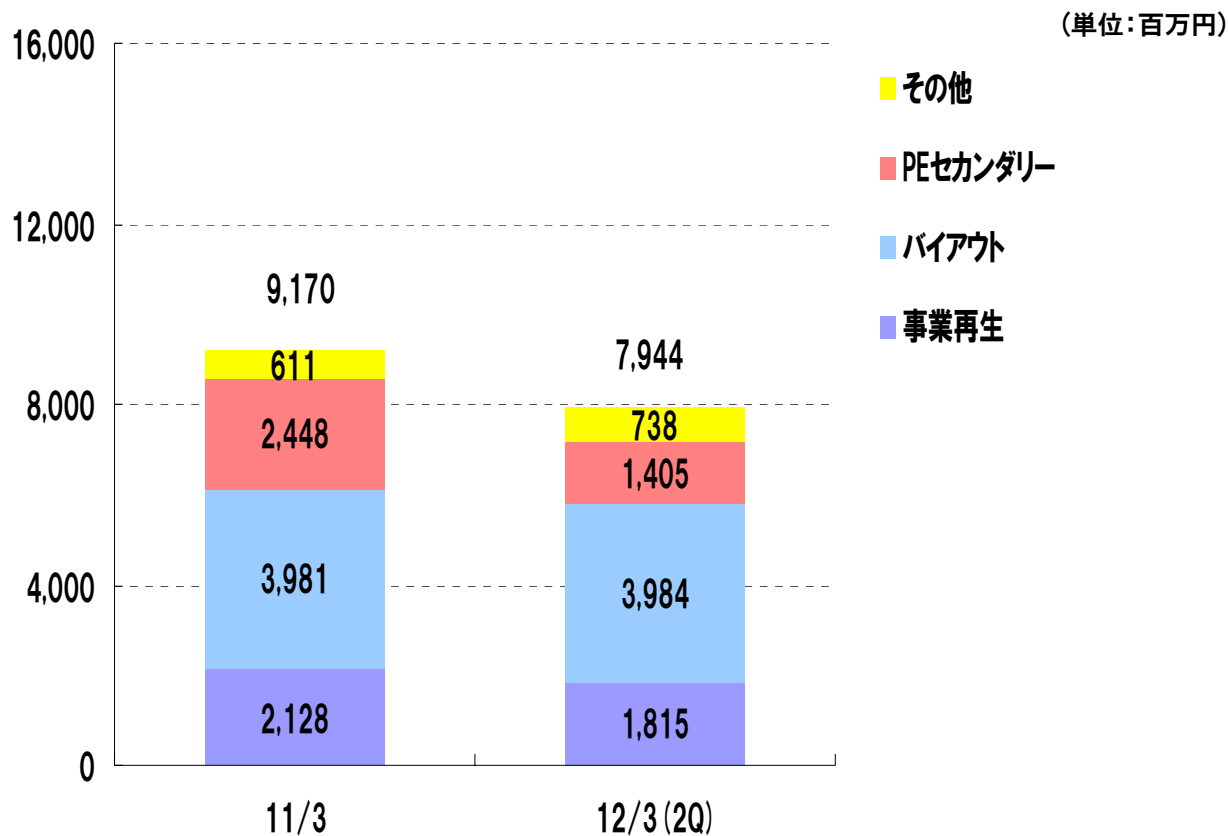
(単位:百万円)



(自己勘定+ファンド)

- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において44社3,457百万円となります。

◆他PE投資-投資種類別



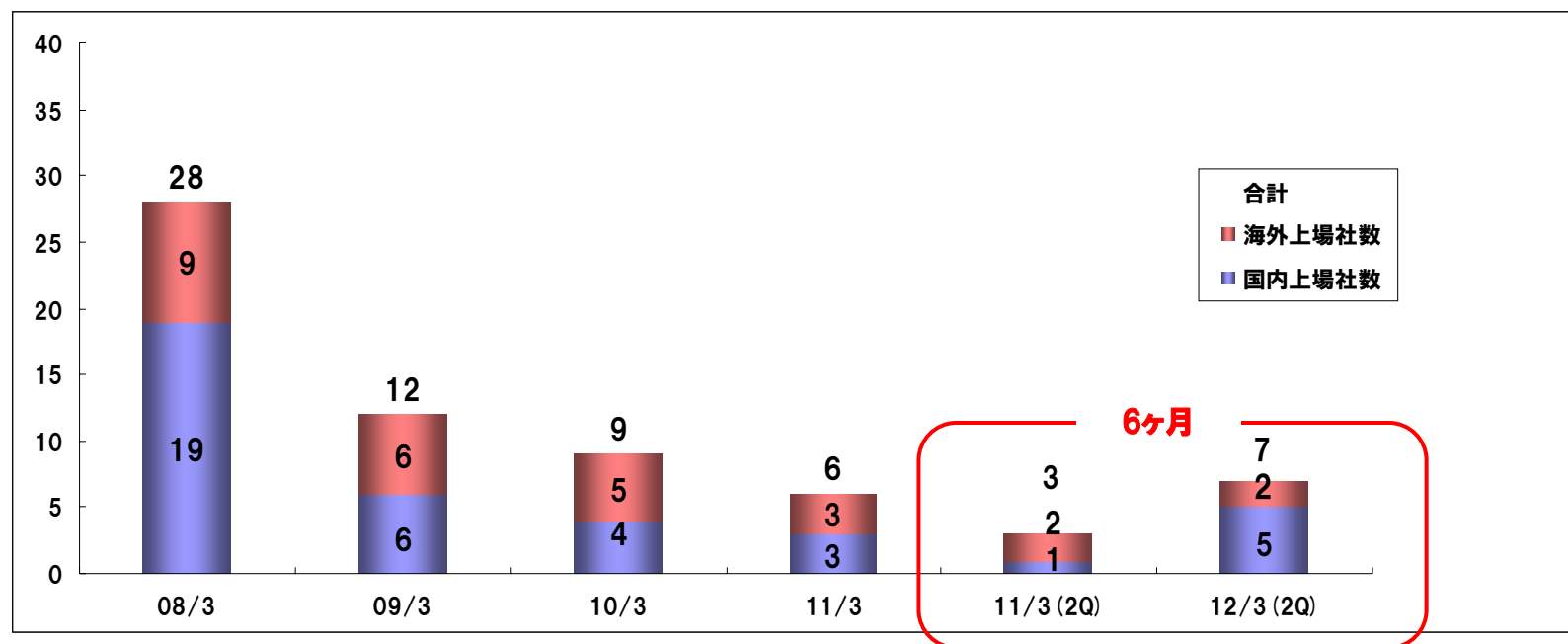
(自己勘定+ファンド)

- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において7社618百万円となります。

投資業務 一上場実績

上場社数(単位:社)

(自己勘定+ファンド)



初値ベース投資倍率

(単位:倍)

| | 08/3 | 09/3 | 10/3 | 11/3 | 11/3(2Q) | 12/3(2Q) |
|----|------|------|------|------|----------|----------|
| 国内 | 2.6 | 3.5 | 1.3 | 1.9 | 2.1 | 1.6 |
| 海外 | 6.2 | 0.9 | 1.6 | 0.6 | 0.4 | 1.9 |

・新規上場件数には、08/3は2社、09/3は3社、10/3は1社、11/3は1社の株式交換等による上場株式取得分を含めております。
 なお、初値倍率の計算には株式交換による上場株式取得分は含めておりません。平均初値倍率＝初値時価総額の合計／取得額の合計

PL—内訳



(単位:百万円)

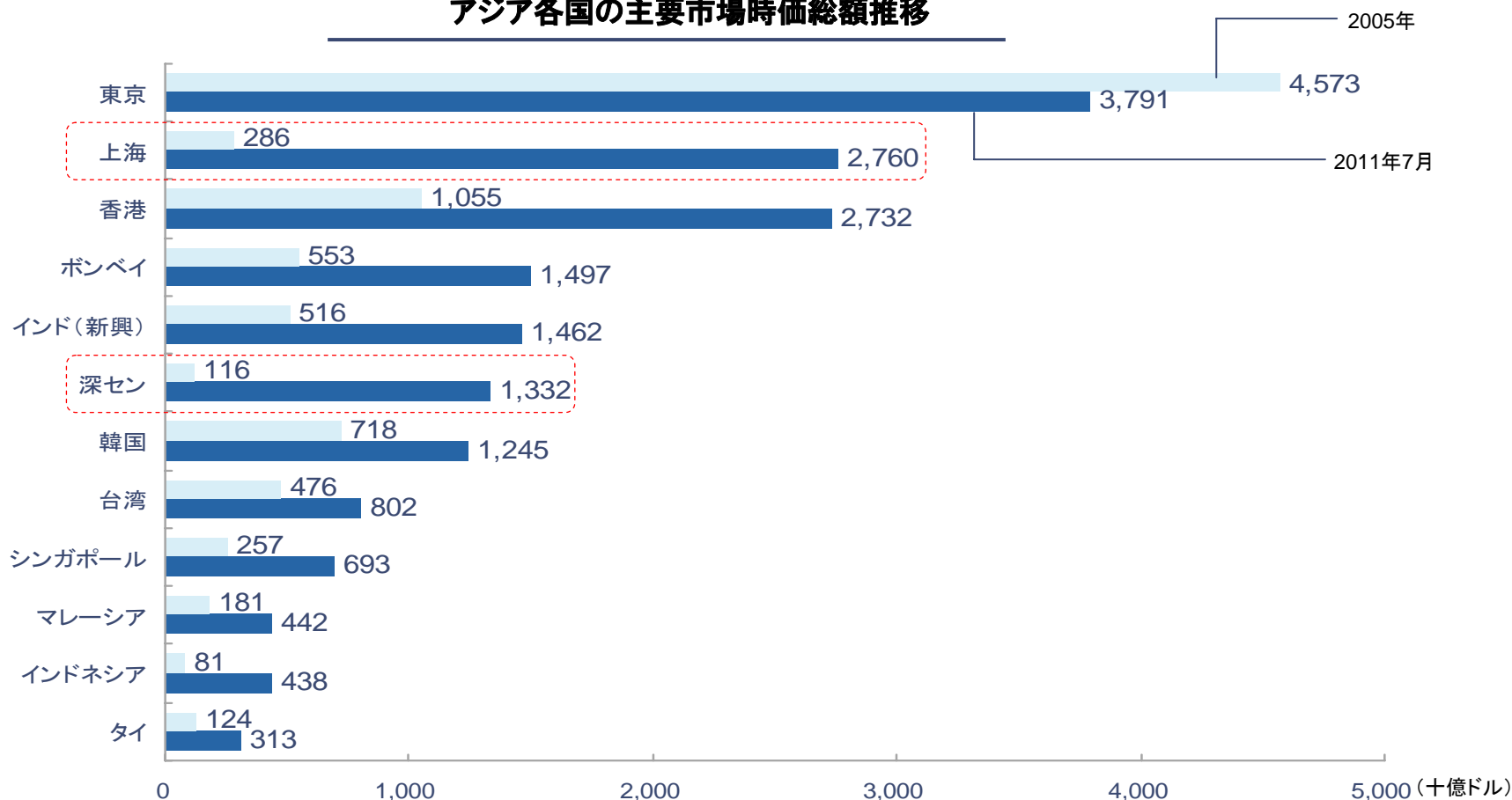
| | 08/3 従来連結 基準 | 09/3 従来連結 基準 | 10/3 従来連結 基準 | 11/3 従来連結 基準 | 11/3(2Q) 従来連結 基準 | 12/3(2Q) 従来連結 基準 | 増減率(%) | 11/3(2Q) ファンド連結 基準 | 12/3(2Q) ファンド連結 基準 | 増減率(%) |
|-----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------------|------------------------|--------|--------------------------|--------------------------|--------|
| <業務別> | | | | | | | | | | |
| 1. 投資事業組合等管理業務 | | | | | | | | | | |
| 管理運営報酬等 | 1,501 | 1,559 | 1,294 | 1,088 | 597 | 475 | △20% | 262 | 210 | △20% |
| 成功報酬 | 1,006 | 268 | 461 | 295 | 157 | 0 | △100% | 113 | - | - |
| 営業収益 | 2,508 | 1,827 | 1,755 | 1,383 | 754 | 476 | △37% | 375 | 210 | △44% |
| 営業原価 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 営業総利益 | 2,506 | 1,827 | 1,755 | 1,383 | 754 | 476 | △37% | 375 | 210 | △44% |
| 2. 投資業務 | | | | | | | | | | |
| 営業投資有価証券売却高 | 14,547 | 5,203 | 4,700 | 8,584 | 4,163 | 1,659 | △60% | 4,780 | 2,209 | △54% |
| 営業受取配当金・受取利息他 | 1,988 | 814 | 673 | 776 | 302 | 135 | △55% | 340 | 164 | △52% |
| 営業収益 | 16,535 | 6,018 | 5,373 | 9,360 | 4,466 | 1,794 | △60% | 5,121 | 2,374 | △54% |
| 営業投資有価証券売却原価 / 投資原価 | 5,960 | 5,022 | 4,450 | 6,680 | 2,544 | 1,514 | △40% | 2,819 | 1,933 | △31% |
| 営業投資有価証券売却原価 / 評価損 | 1,665 | 15,069 | 2,829 | 627 | 534 | 341 | △36% | 576 | 626 | 9% |
| 投資損失引当金繰入額 | 467 | 7,615 | 5,151 | -296 | 121 | 116 | △4% | 142 | 427 | 201% |
| その他 | 540 | 509 | 398 | 191 | 46 | 39 | △15% | 80 | 88 | 10% |
| 営業原価 | 8,632 | 28,217 | 12,829 | 7,203 | 3,246 | 2,012 | △38% | 3,618 | 3,076 | △15% |
| 営業総利益 | 7,902 | △22,199 | △7,456 | 2,157 | 1,219 | △217 | - | 1,503 | △701 | - |
| 3. その他 | | | | | | | | | | |
| 営業収益 | 1,008 | 649 | 285 | 234 | 155 | 54 | △65% | 162 | 60 | △63% |
| 営業原価 | 537 | 266 | 183 | 83 | 52 | 19 | △63% | 52 | 19 | △63% |
| 営業総利益 | 470 | 382 | 101 | 151 | 102 | 34 | △66% | 109 | 41 | △62% |
| 合計 | | | | | | | | | | |
| 連結営業収益 | 20,051 | 8,494 | 7,414 | 10,979 | 5,376 | 2,325 | △57% | 5,659 | 2,645 | △53% |
| 連結営業原価 | 9,172 | 28,483 | 13,013 | 7,286 | 3,299 | 2,031 | △38% | 3,671 | 3,095 | △16% |
| 連結営業総利益 | 10,879 | △19,988 | △5,599 | 3,692 | 2,076 | 293 | △86% | 1,987 | △450 | - |
| 販売費及び一般管理費 | 5,328 | 7,698 | 3,787 | 2,399 | 1,275 | 1,107 | △13% | 1,174 | 1,032 | △12% |
| 営業利益 | 5,550 | △27,686 | △9,386 | 1,293 | 800 | △813 | - | 813 | △1,482 | - |
| 経常利益 | 4,796 | △28,950 | △10,334 | 175 | 411 | △1,099 | - | 416 | △1,777 | - |
| 当期純利益 | 3,049 | △34,845 | △10,903 | △2,044 | △258 | △1,117 | - | △252 | △1,313 | - |

4.今後の事業戦略

市場環境 – アジア主要市場の時価総額推移

2005年以降、中国における株式市場の時価総額は大きく増加しています

アジア各国の主要市場時価総額推移

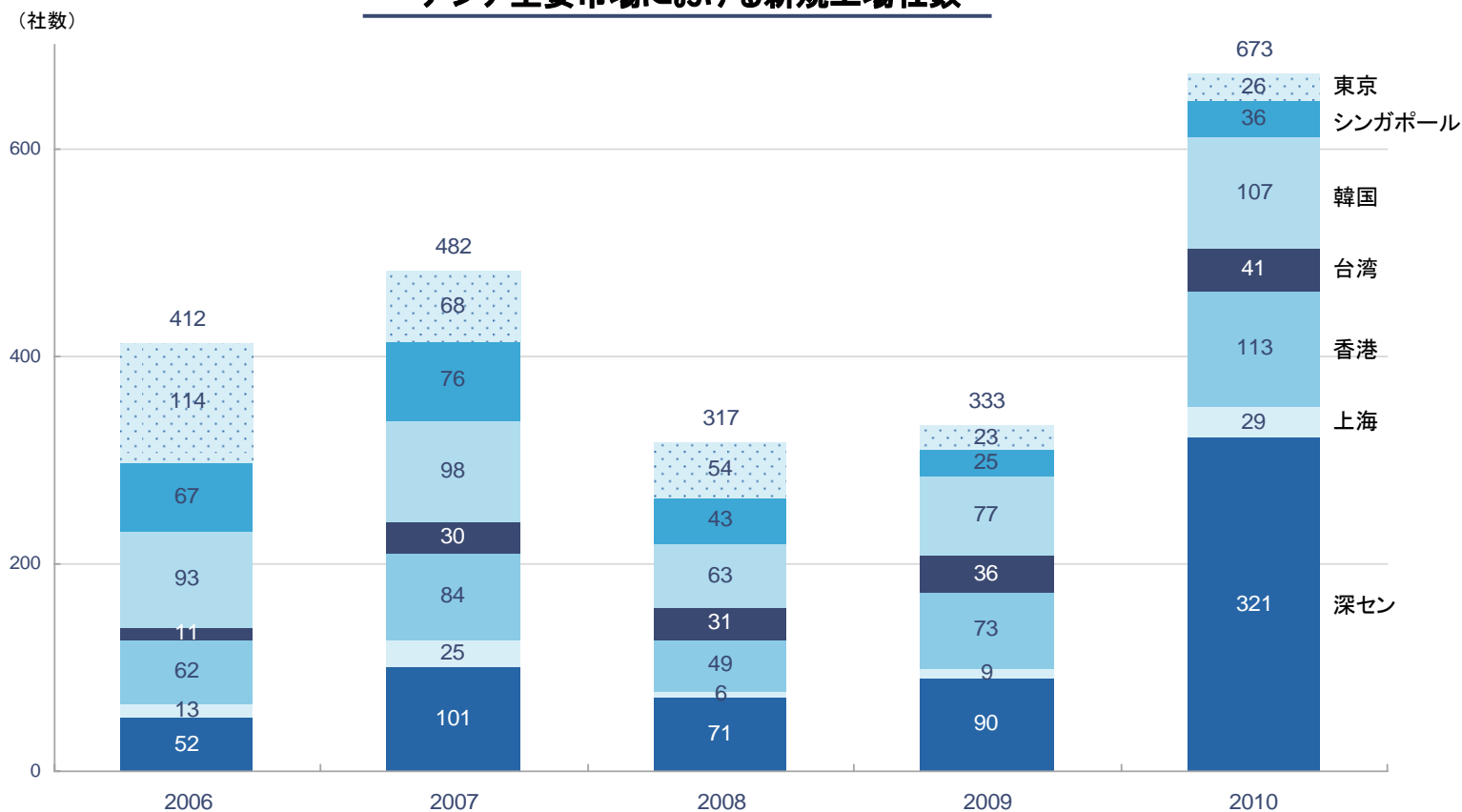


出所: World Federation of Exchanges

市場環境 – アジア主要市場における新規上場社数の推移

2010年は深セン、香港で新規上場社数が大幅に増加しています

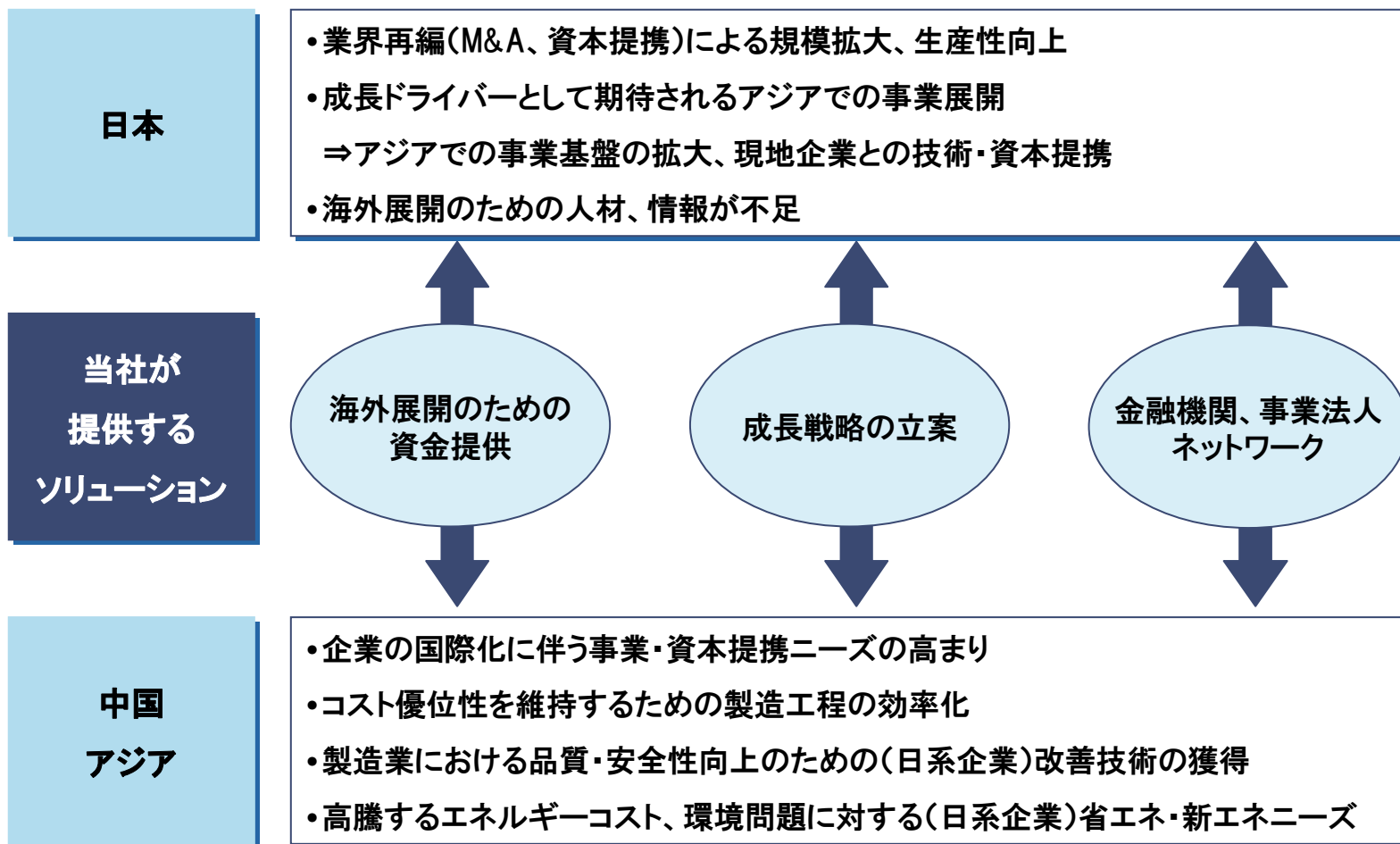
アジア主要市場における新規上場社数



出所: World Federation of Exchanges

当社の事業機会

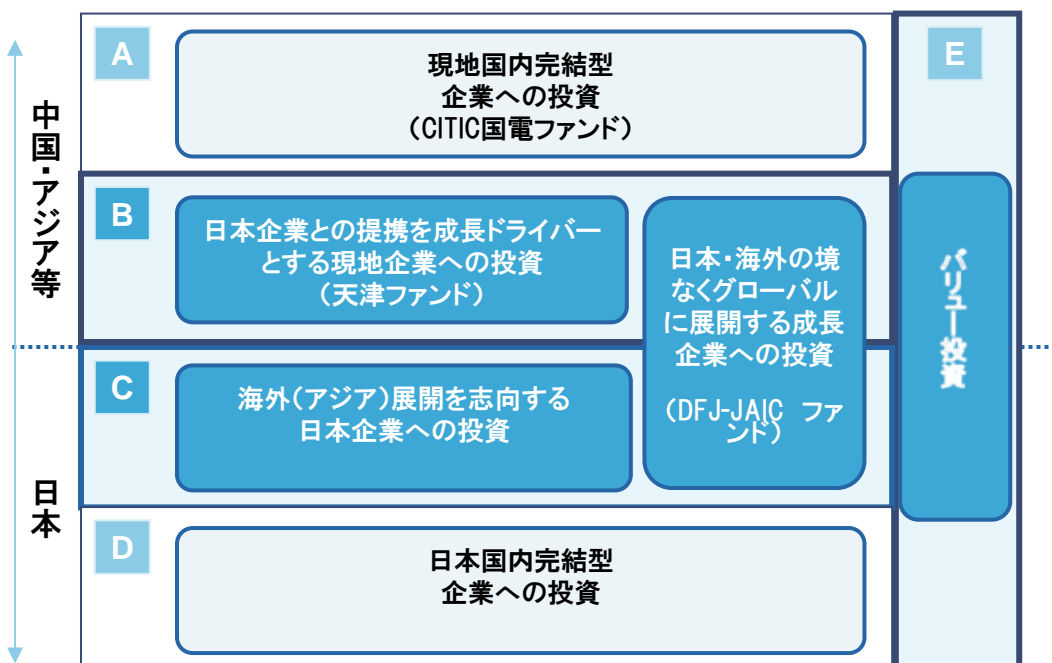
日本企業のアジアでの事業拡大ニーズ、アジア企業の事業・資本提携・各種技術の獲得ニーズが高まっており、当社がこれまでに培ってきたアジアでの広範なネットワーク等を活かせる市場環境にあると考えております



今後注力する投資領域

アジアにおいてグローバルな展開を志向する成長企業への投資、ファンドの設立を特に強化していきます

投資領域のイメージ



投資手法別の方針

- **グロースエクイティ (重点投資領域:B・C)**
 - 拡大方針
 - 対象エリア: 日本、中国・アジア
 - 対象は、既に確たる事業基盤を有し、次のステージへ成長機会を求める企業
- **VC (重点投資領域:B・C)**
 - 情報通信関連などグローバル展開するセクターに注力
 - 対象エリア: 日本、中国・アジア等
 - 投資先への出資比率を高め、積極的に経営に関与し投資先の企業価値向上を図る
- **PEセカンダリー (Special Situation) (重点投資領域:E)**
 - 拡大方針
 - 対象エリア: エリア問わず
 - パイプラインが出てきており、リスクが比較的限定されることから、引き続き積極的に取り組む

今期中の有力投資候補先

| 所在地等 | 事業内容 | 当社の提供付加価値 | 備考 |
|------------|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| A社(日本) | 自動車・家電関連電子部品の開発・製造 | 現地企業の紹介など、中国戦略支援 | 世界トップクラスの技術力との評価 |
| B社(日本) | 産業用資材の販売 | 特徴ある商材やメーカーの紹介 | 東南アジア、中国に進出意欲 |
| C社(日本) | 石油精製・石油化学プラントの不純物ろ過等を行う部品の製造・販売 | 中国生産工場の本格稼働に向けた資金を提供 | 既に海外での技術評価高い |
| D社(中国) | 石炭掘削機械、特殊車輛製造 | 技術力のある日本企業とのスムーズな提携を支援 | 日本からの技術導入ニーズあり |
| E社(中国) | エナジーマネジメント (省エネコンサルティング) | ファンドを通じて、同社の有力顧客候補である国電との関係強化 | CITIC国電ファンドの1号案件 |
| F社(中国) | モバイル向け公共交通料金等の支払いシステム開発 | ガバナンス強化、日本の経験を活かした事業戦略アドバイス | 中国東北地方での成長機会大きい |
| G社(中国) | ソーシャルゲームの開発 | 有望なマーケットである日本でのプロモーション支援 | 発行企業の強い希望があり、既存投資家の持分を異動 |
| H社(インドネシア) | 商業施設等のシステム運用管理サービスのプロバイダー | 日本企業との提携機会の創出、事業戦略アドバイス | 既に複数の有力顧客を抱える |
| I社(マレーシア) | LPG販売等 | 事業切り出しの実行と、安定株主としての事業運営サポート | 大手石油会社からのカーブアウトプロジェクト |

中華圏における合併会社・当社支店・ファンドの設立状況



合併会社・支社

ファンド

Japan Asia Investment
(China) Co., Ltd.
瀋陽支店

Japan Asia Investment
(China) Co., Ltd.
北京支店

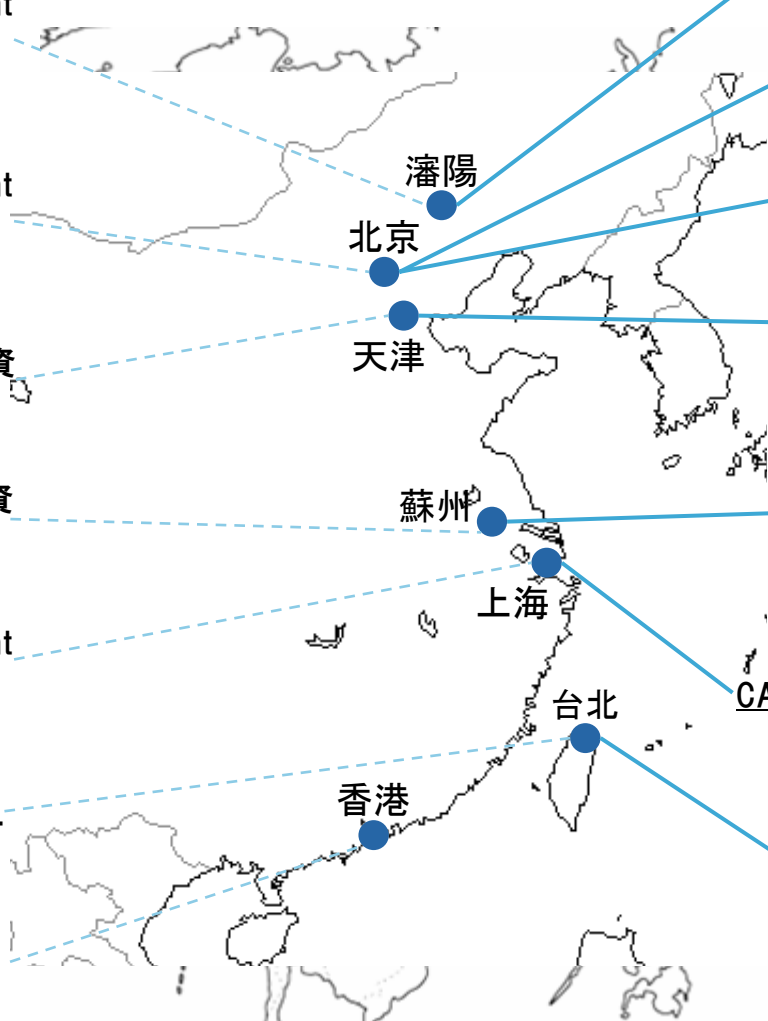
日亜(天津)創業投資
管理有限公司

蘇州日亜創業投資
管理有限公司

Japan Asia Investment
(China) Co., Ltd.

JAIC International
(Hong Kong) Co., Ltd.
台北支店

JAIC International
(Hong Kong) Co., Ltd.



万亜(瀋陽)創業投資基金(瀋陽ファンド)
2011年12月以降設立予定
ファンド総額:3億人民元(ファーストクローズ時点)

北京中電新能投資中心(CITIC国電ファンド)
2011年6月設立
ファンド総額:1.32億人民元(2011年9月末時点)

中国企業へのグロース投資等を目的として、
日本政策投資銀行とのJV設立
2011年9月末 会社設立

日亜(天津)創業投資企業(天津ファンド)
2011年8月設立
ファンド総額:1.2億人民元(2011年9月末時点)

日亜創業企業投資 (JAIC China Growth Fund)
2009年3月設立
ファンド総額:1億人民元

CA-JAIC China Internet Fund II,L.P.(オフショア投資ファンド)
2010年10月設立
ファンド総額:US\$16mil.(2011年9月末時点)

JAIC&BV Taiwan Venture Investment Company Inc.
2010年3月設立
ファンド総額:US\$6mil.

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

常務取締役 下村哲朗

経営管理本部 山本

経営管理本部 丸山

IRに関するお問合せアドレス: ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。